

## 《モン Cub 120 分耐久レース及びスプリントレース》

### 大会概要及び規則書

#### ◆開催日

Rd1 2016 年 5 月 5 日(木・祭日)

Rd2 2016 年 8 月 28 日(日)

#### ◆主催

モン Cub 耐事務局

#### ◆特別協賛

幸田サーキット YRP 桐山

造形社(月刊モトモト)

#### ◆協力

はっぴいえんどプロジェクト (全日本カブ耐久選手権主催者)

#### ◆事務局 申し込み・問い合わせ先(どちらでも)

★崎田二輪本舗 (サキタニリンポ)

〒444-3523

愛知県岡崎市藤川町中町南 51 番地 1

モン Cub 担当 崎田(サキタ)

TEL : 0564-48-8316

FAX : 0564-64-1094

eMail: monkeyandcub@outlook.jp

URL : <http://www.sakitanirin.com/>

★M&F Cuby (エムアンドエフ カビィ)

〒441-8122

愛知県豊橋市天伯町六ツ美 67-6B

モン Cub 担当 影山(カゲヤマ)

TEL/FAX : 0532-46-5171

eMail: monkeyandcub@outlook.jp

URL : <http://Cuby.jp/>

#### 開催クラス

◆【モン Cub 120 分耐久レース】 (以下モン Cub 耐)

MN (モンキーゴリラノーマル)クラス

CN (カブノーマル)クラス

◆【モン Cub スプリントレース】 (以下スプリント)

MN (モンキーゴリラノーマル)クラス

CN (カブノーマル)クラス

※両レースとも車両規則は同様とする(耐久車両でのスプリントダブルエントリー可能)

#### ◆参加可能車両

##### MN クラス

8 インチホイールを採用するホンダ製のモンキー及びゴリラ(FI 車可)

※6V モンキーのマニュアルエンジン載せかえ及びモンキーBAJA、Z50R は出場可能。

※10 インチ車のモンキーR は出場不可。

##### CN クラス

フロントサスペンションがボトムリンク式で遠心クラッチのホンダ製カブ

※リトルカブやボトムリンク採用車であれば OHV 車と FI 車も出場可能。

※マニュアルクラッチのスポーツカブやテレスコサス(現行や郵政カブ)などのカブは  
出場不可。但しボトムリンクサスや遠心クラッチに換装してあれば出場可。

#### ◆参加資格

常識を持ち、スポーツマンシップにのっとった行動が取れるもの。

20 歳未満は申込用紙への親権者の署名(自筆)及び捺印(実印)を義務付ける。

#### ◆参加料

耐久:1 チーム **¥16000** (税込) 1 チームあたり 2 名以上

スプリント:1 名 **¥5000** (税込)

#### ◆参加受付

##### (1) エントリー受付期間

2016 年 5 月 5 日開催向け **2016 年 3 月 1 日～ 4 月 20 日**

各クラス定員到達次第受付終了

##### (2) 定員

MN クラス+CN クラス 合わせて 70 台

※エントリー順にピットを割り当てます。

ピットに入りきらないエントラントはピット裏テントを割り当てます。

##### (3) 1チームあたりライダー2 名以上。

(4) 希望ゼッケンあればエントリー用紙に記入してください(3 桁まで)。可能な範囲で先着順に対応いたします。※ピットのモニターやリザルトは 3 桁表記ですが、サーキットコース内の電光掲示板には下 2 桁しか表記されませんのでご了承ください。

(5) 受付期間内に申し込み用紙と参加料を事務局必着(現金書留)するか、FAX・eMail・指定口座振り込みで申し込んでください。

- (6) ※FAX・eMail 申し込みの方は開催当日に必ず原本(捺印)を持参することが条件となります。

〈お振込先〉

・モン Cub 耐運営事務局

豊川信用金庫 本宿(もとじゅく)支店 普通 4340614 サキタ ハヤト

#### ◆参加受理・ゼッケン

- (1) 開催日の約一週間前までに受理書の発送をいたします。(エントリーのタイミングによっては間に合わない場合がございます)
- (2) ゼッケンプレート及びゼッケンは参加者が用意し、フロントに貼ってください。(カブはレッグシールドをゼッケンスペースとして代用可)
- (3) サイドゼッケンは義務付けません。(あっても良い)
- (4) サイズやフォントの規定は厳しく設けませんがハガキサイズ程度を標準と考えてください。遊び心のあるデザインゼッケン、多少の大小差 OK です。
- (5) ゼッケンスペース及びゼッケンの色は指定しませんが黒ベース/黄文字などの視認しやすい反対色を用いてください。転倒などのトラブルが発生した場合にオフィシャルが少し離れていてもゼッケン番号を読めるかどうかを目安にしてください。
- (6) 色・デザインともあまりに読みにくいと判断した場合は不可と判断いたします。
- (7) 段ボールゼッケンプレート及びガムテゼッケンは不可です。

#### ◆参加者の装備

- (1) ヘルメット  
JIS 規格のフルフェイス、ジェットヘルメット、またはオフロードヘルメット。  
あご紐の無いものは不可。走行中は必ず締めること。  
ジェットヘルメットの場合はチンガード及びシールド装着必須。  
オフロードヘルメットの場合はゴーグル装着必須。
- (2) レーシングスーツ  
MFJ 公認の皮ツナギが望ましい。  
セパレートの場合はファスナー等で接続できるタイプであること。  
ライディングジャケット及びライディングパンツでも可、ただし肩・肘・膝パッド装着必須。
- (3) グローブ  
手首まで隠れるもの。皮製のレーシンググローブが望ましい。
- (4) ブーツ  
くるぶしまで隠れるもの。レーシングブーツが望ましい。
- (5) 脊椎パッドとチェストプロテクター  
脊椎パッドとチェストプロテクターの着用を強く推奨する。

#### ◆参加者の遵守事項

- (1) 全ての参加者は競技開催中はオフィシャルの指示に従うこと。
- (2) 競技中の飲酒をしない。サーキットからの行き帰りにも飲酒運転をしない。
- (3) 競技中に薬品等に依存し精神状態をとりつくろってはならない。
- (4) 健康状態に異常がある場合は参加してはならない。
- (5) 幸田サーキットの使用規定を守ること。
- (6) サーキット周辺道路が周辺住民の生活道路であることを十分に尊重し、行き帰りは常に地元車両を優先すること。

#### ◆公式練習・決勝

- (1) モン Cub 耐>決勝レースを 120 分とする。スプリント>12 周とする。
- (2) 耐久・スプリント決勝レース前に公式練習(予選)を 20 分程度設ける。
- (3) 決勝スターティンググリッドは公式練習(予選)のベストタイム順とする。
- (4) 以下スプリント
- (5) スタートはエンジン始動状態からのグリッドスタートとする。
- (6) ピットからそのまま一周してグリッドに着き、スタートの練習からウォームアップラップ 2 周を行う。
- (7) 以下耐久
- (8) スタートはエンジン停止状態からのルマン式スタートとする。
- (9) スタート前にルマン式スタートの練習からウォームアップラップ 2 周を行う。
- (10) エンジン始動は必ず第一ライダー(スタート時のライダー)が行う。
- (11) エンジン始動はキック及びセルによるものとする、かからない場合の押しがけは後述(9)参照
- (12) 第二ライダー又はヘルパーなどが車体を支える。
- (13) 車体を支えるスタッフは危険なので必要以上にコース上に出ない。
- (14) キック及びセルにてエンジンがかからず、やむを得ず押しがけする場合は後方からの車両に最大限注意し、原則として通常通り始動スタート出来た車両が行った後行う。
- (15) 以下スプリント及び耐久に適応
- (16) スプリントは 12 周、耐久は 120 分経過次第トップ車両にチェッカーフラグを掲示し、以降各マシンチェッカーフラグを受け次第レース終了とする。
- (17) チェッカーフラグを受けた車両はそのまま 1 周してピットロードに戻ること。  
※チェッカー直後にストレートで止まらないこと!!
- (18) ダブルチェッカー(チェッカーフラグを 2 度受ける)は失格とする。
- (19) 第一シケインを使用します。(ピットロード出口における安全向上とバックストレートエンドの速度を抑えるため)※ピットアウト時はシケインに侵入せず直進してください。

#### ◆車検及び再車検

- (1) レース前に行う車検は車両の安全性且つレース中のアクシデントを回避するために行うものとする。 \*各クラスに参加される車両規則の違反を確認するものではありません。  
※レース前車検の主なチェックポイント
  - ・ハンドルバー先端がむき出しになってないこと(丸形状のグリップエンドが望ましい)
  - ・突起物など危険な形状をしていないこと(ステップ削れによる突起含む)
  - ・ブレーキが効くこと
  - ・ステップ等、全てのボルト類のゆるみが無いこと
  - ・キャッチタンクの装着及び固定
  - ・ドレンボルト及びファイラーキャップのワイヤリングがされていること
- (2) 参加される全ての車両は決められた時間内に所定の車検場で車検を受けること。
- (3) 受付時にトランスポンダー(タイム計測器)を貸与します。車両に装着した状態で車検を受けること。
- (4) オンボードカメラをバイクに装着して走行する場合は装着した状態で車検を受けること。
- (5) 改善・再車検の指導等は、車検長の判断に速やかに従うこと。
- (6) 車検に合格した車両にはステッカーが貼付する。大会終了までは除去しない。
- (7) 決勝レース前までの走行で、転倒により大破した車両を修理した場合、決勝レース前に再車検を行う。
- (8) レース終了後、入賞車両はランダムに再車検を行なう場合がある。呼び出しのあった該当ライダーは所定の場所に車両を持ち込む事。主催者よりエンジン開閉等の作業依頼があった場合は当該チームのライダーもしくはメカニックが対応し作業を実施すること。再車検により違反が見つかった場合は、当該レースを失格とし、以降のレース出場に関しても拒否・制限される場合がある。

#### ◆競技進行規則

- (1) ピットロードは人の往来などがあるので、必ず徐行で走行すること。
- (2) ピットロード走行時は速度制限(時速 30 キロ)を守ること。
- (3) コースにコースインする時は、本コースに後続のマシンがないか、もしくは十分な距離がある事を確認し、必ず手でコースインの合図をすること。(コース内のマシンが最優先)
- (4) コース上で急な進路変更や蛇行走行、幅寄せ、前者の直後に着く等の危険行為は厳禁とする。
- (5) プッシング、ブロッキング、非スポーツマン行為等の危険行為、妨害行為をしないこと。(その場合の判定抗議は一切受付けない)
- (6) コース上で転倒した場合、後続車との衝突を避ける為、後方をよく確認をして行動をすること。オイル等のフルード系の漏れが見受けられる場合は再スタートせず、オフィシャルの指示に従うこと。再スタートが不可能な場合、コース外の安全な場所へマシンと共に避難すること。

- (7) マシントラブル等でストップする場合は、コース上に停車しないで、コース外の安全な場所に避難すること。
- (8) 転倒またはトラブルによりコース上で止まってしまってもコース外に出るまではヘルメットや装備を絶対に脱がないこと。
- (9) 競技中はオフィシャルが掲示するフラッグ(旗)の意味に必ず従うこと。
- (10) ピットロード・コースは、いかなる場合も逆走、横断してはならない。(オフィシャルの指示の場合を除く)
- (11) ライダーは必ずライダーズミーティング(ブリーフィング)に参加すること。不参加が発覚した場合、競技に出場する事はできない。
- (12) 【重要】ライダー交代の際は必ず自分のチームのピット前にマシンを停止させ、エンジンをストップしてマシンを降りること。エンジンがかかった状態でのライダー交代はペナルティ対象になる。
- (13) 競技中の重大な事故や著しい気象条件の変化により、競技を中断する場合がある。その場合、指定ポストで赤旗を掲示する。ライダーはスローダウンして各自のピットへ戻ること。
- (14) 赤旗等の場合、競技の3分の2を消化していれば、競技成立とする。その場合、如何なる理由であっても、抗議や参加料の返還請求は受け付けない。

#### ◆給油

レース進行中に給油を行う場合は必ず金属製のガソリン携行缶を使用する。

プラ製のジョッキなどは絶対に使用しないこと。

給油作業時は1人が車体を確実に支えて作業すること、レーシングスタンドの使用が望ましい。

#### ◆ペナルティ

ライダー、ピットクルーは大会規則、大会役員の指示に従い違反行為のあった場合に課せられたペナルティに関しては抗議できない。

行為	ペナルティ
フラッグ無視	厳重注意または順位の降格または
フライング	ストップ&ゴー(ピットストップ)
ショートカット	1回目=厳重注意 2回目以降=1周
危険行為	厳重注意または失格
ライダー交代時のエンジンストップ違反	ピットロードライドスルー

その他の記載されていない事柄に関しても競技長の判断によりペナルティとなることがある。すべての違反行為については競技長の判断を最優先する。

#### ◆主催者側の権限

- (1) 主催者は理由を公表することなく参加希望者の参加を拒否できる。
- (2) 大会に関する参加者、同業者及び肖像権や音声、写真、映像等に関する権限は主催者にあるものとし、第三者に対してその使用を許可できる。

#### ◆保険制度

- (1) 参加者は、モン Cub 耐事務局が主催するモータースポーツイベント中に怪我をした場合、傷害保険や賠償責任を負う事故を填補する保険「スポーツ安全保険」を受給する事が出来ます。保険金に関しては、別紙資料のご請求をしてください。
- (2) イベント参加する場合、スポーツ安全保険加入を推奨します。
- (3) その場合の加入費用は¥3,000-/名。

**【重要】**保険期間は、加入手続き日の翌日より翌年の3月31日まで。

- (4) 申し込み方法: 下記リンク先に詳細ございます。

<http://monkeyandcub.web.fc2.com/InsuranceEntry.html>

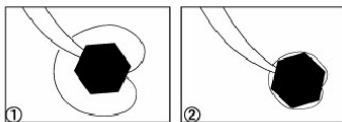
## ◎車両規則

### [1] モン Cub 耐 全クラス共通車両規則

- (1) 前輪・後輪に独立した有効なブレーキを装備していること。
- (2) ハンドルは左右に一杯に切った時、ガソリタンクとの間にライダーの指を挟まない間隔を確保していること。
- (3) ハンドルバーエンドがむき出しにならないようにキャップなどを必ず取付けること。性能を損なわず先端が丸ければ、レバー類・ペダル類(ステップホルダー含む)の変更は可。グリップラバーの変更も可。
- (4) フロント&リアフェンダーの装着を義務付ける。
- (5) チェーンカバーの装着を義務付ける。純正でなくとも可。
- (6) 走行中路面に接地することが予想される突起物は、路面保護及び安全上取り除くこと。サイドスタンドステーは切除が望ましい。
- (7) バックミラー・キャリア等のアクセサリ類は取り外すこと。ランプ類は飛散防止テーピングでも良い。
- (8) カウル等を取り外す場合はステーも取り外すこと。  
※装着カウル類は転倒等で簡単に外れないよう固定すること。  
※ゼッケンプレート・メーター・シート等の取付けを目的としたステーの追加は認められる。
- (9) タイム計測用の発信機(トランスポンダー)を使用するので、簡単に脱落しない装着スペースを必ず備えること。
- (10) オイルドレンボルト・オイルフィルターキャップ・オイルフィルター・オイルチェックボルトのボルト類は、必ずワイヤーロックをする事を義務付ける。

図1 ワイヤーロック

●正しいワイヤーロックの方法 (適当なステンレスワイヤーを使用する)  
ワイヤーロックは図のようにボルトを締める方向にワイヤーを引くこと。



①頭の部分に穴の開いたボルトの穴に、ワイヤーを2本同時に入れて引っ張る



③ワイヤーをねじる (切れにくい程度に)。

④動かなく、適切な位置にワイヤーを固定するか、ボルトが締まっていく方向にワイヤーを引っ張る。緩みすぎているとダメです。



- (11) ブリザーホースは大気開放せず、キャブ吸入口の一番低い箇所の水平線よりも上部にキャッチタンクを取付けること。
- (12) 音量制限を 93dB とする。主催者に音量測定を依頼された場合は従うこと。  
**※93dB を超える車両に対しては走行の中断及び排気音の低減措置実施を求める場合がある。**
- (13) 全ての車両は、キャブレターからの「オーバーフローパイプ」に、ガソリンキャッチタンクを転倒時に影響の無い場所に必ず装備のこと。
- (14) 飲料の空き缶や熱に弱い材質をキャッチタンクに使用することは禁止。
- (15) 各キャッチタンクは走行前に必ず空にすること。
- (16) 市販タイヤを使用する。(ドライタイヤ・レインタイヤ共)
- (17) タイヤウォーマーの使用は認めない。
- (18) カムシャフトについては当レース主催者が認可しているメーカーの物のみ使用を許可する。  
〈認可メーカー一覧(五十音順、敬称略)〉
  - ・泉モータース
  - ・キタコ
  - ・クリッピングポイント
  - ・CF ポッシュ
  - ・シフトアップ
  - ・JUN インターナショナル
  - ・タケガワ
  - ・デイトナ
  - ・ヨシムラ**※他メーカーで希望がある場合は事務局まで問い合わせてください**
- (19) シルエットをできるだけ崩さないという意味で、ヘッドライトケースは外さないことが望ましい。ただしゼッケンプレート等で隠れる場合はこの限りではない。レンズの変更やメーターの変更や取り外しは自由とする。
- (20) フレームの加工は原則禁止、ただしリアフェンダーのカットと余分なステー類のカットは可。(ナンバーステーのカット推奨)
- (21) 盗難撲滅と盗難車の疑いを少しでも払拭する為、車体番号の削られたフレームとエンジンナンバーの削られたクランクケースの使用は不可とする。ただし純正新品のクランクケース(最初から刻印の無い物)の使用は OK とする。
- (22) オンボードカメラ・ヘルメットカメラの装備可。落ちないようにしっかり固定されていること。
- (23) その他、認められると記載の無い変更・改造・取り外しは原則禁止とし、拡大解釈を認めない。不明点があれば必ず事前に問い合わせること。
- (24) 車両規則に反した者は、主催者判断で違反したレース以降のレースに出場を認めない場合がある。その決定に対して、異議を申し立てする事は認められない。

## [2] MN クラス車両規則

### [2-1] 変更・取り外し・改造が可能なもの

- (1) マフラーの変更
- (2) ピストンの変更
- (3) タイヤの変更
- (4) ハンドルバー及びグリップの変更
- (5) ブレーキレバー、クラッチレバーの変更
- (6) ペダル類の変更
- (7) スパークプラグ、プラグキャップ、プラグコードの変更
- (8) スプロケット、ドライブチェーンの変更
- (9) フロントサスペンションスプリングの変更
- (10) リアサスペンションの変更
- (11) ホイールの変更
- (12) ブレーキシューの変更
- (13) CDI の変更
- (14) キャブレター及びジェット類の変更
- (15) エアクリーナーの変更及び取り外し
- (16) スイングアームの変更、ただしノーマル比 6cm 長まで。アルミ製可。
- (17) ハーネス及び電気系の加工及び削除
- (18) ステップの変更。ただしバータイプに限る。
- (19) カムシャフト及びカムスプロケットの変更。カムに付随するバルブスプリング及びロッカーアームの変更も可。
- (20) ガスケットによる圧縮比の変更。ただし面研は不可。
- (21) ホーンの変更及び取り外し
- (22) バッテリーの変更及び取り外し
- (23) タンクキャップ、シート、オイルドレンボルト、外装ペイントなど走行性能に影響の無い変更。

### [2-2] 禁止事項

- (1) 2-1 項に記載の無い変更・改造・取り外しは禁止とする。
- (2) ダウンロードサイトの「改造・変更可否早見表」を参照のこと。
- (3) 不明な点は事務局までお問い合わせください。

### [3] CN クラス車両規則

#### [3-1] 変更・取り外し・改造が可能なもの

- (1) レッグシールドの加工
- (2) マフラーの変更
- (3) ピストンの変更
- (4) タイヤの変更
- (5) ブレーキレバーの変更
- (6) ハンドルグリップの変更
- (7) ペダル類の変更
- (8) スパークプラグ、プラグキャップ、プラグコードの変更
- (9) スプロケット、ドライブチェーンの変更
- (10) フロントサスペンションスプリングの変更
- (11) リアサスペンションの変更
- (12) ブレーキシューの変更
- (13) ホイールリムの変更
- (14) CDI の変更
- (15) キャブレター及びジェット類
- (16) エアクリナーの変更及び取り外し
- (17) ハーネス及び電気系の加工及び削除
- (18) カムシャフト及びカムスプロケットの変更。カムに付随するバルブスプリング及びロッカーアームの変更も可。
- (19) ガasketによる圧縮比の変更。ただし面研は不可。
- (20) ホーンの変更及び取り外し
- (21) ウィンカー、テールランプ、キャリアの取り外し
- (22) バッテリーの変更及び取り外し
- (23) プレスカブのみドリブンフランジ変更
- (24) タンクキャップ、シート、オイルドレンボルト、外装ペイントなど走行性能に影響の無い変更。
- (25) カブカスタム(角目車)のリア周りのプラパーツ取り外し。
- (26) サイドカバーの変更及び加工可。

#### [3-2] 禁止事項

- (1) 3-1 項に記載の無い変更・改造・取り外しは全て禁止とする。
- (2) ダウンロードサイトの「改造・変更可否早見表」を参照のこと。
- (3) 不明な点は事務局までお問い合わせください。